

デジタルデバイスと人間工学の知見を活用した博物館における視覚障害者への情報提示の可能性

永井 正太郎（広島修道大学 人間環境学部）

私の専門分野は人間工学です。博物館という領域とは研究上の接点はありませんでしたが、この度、視覚障害者への情報提示というテーマで関わらせていただくこととなりました。これまで博物館においても、人間工学と関わることは少なかったのではないかと思います。そのため、まずは人間工学という分野について簡単に紹介を行い、そのうえで、昨年度行われたヒアリングから明らかとなった課題との関連性を説明します。そのうち博物館へのアクセス情報や館内のバリアフリー情報、そして展示内容を含めどのような手段で情報の提示を行うことが考えられるか、関連する知見や技術を紹介し、今後の応用可能性について検討を行います。

また、ユニバーサルデザインを具体化するにあたり重要な考え方についても解説を行います。今回のシンポジウムを機に、各参加者の知識を活用し、より良い情報提示のあり方について議論を深めることができれば幸いです。